

命を救うがん研究

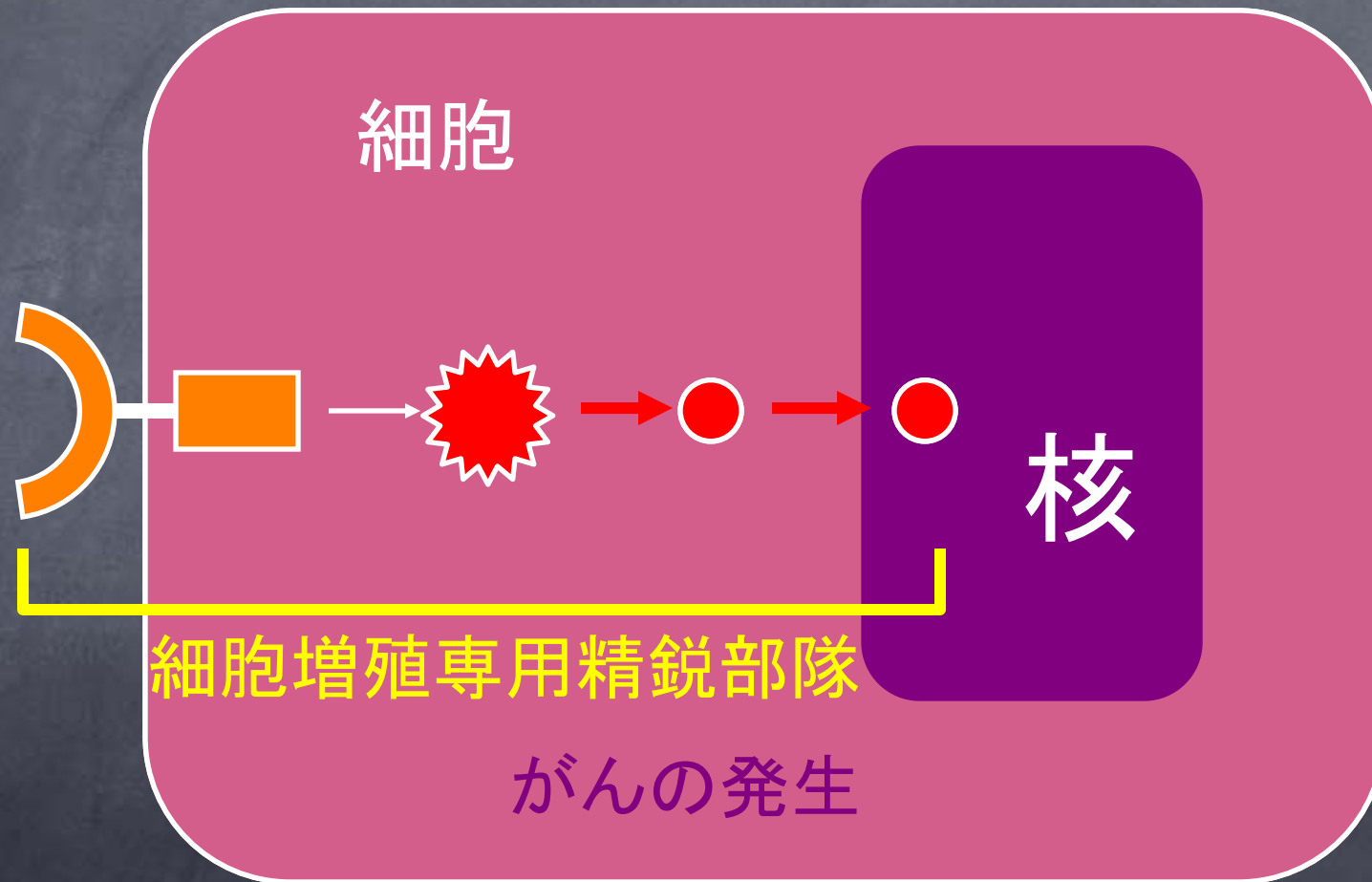
間野博行

東京大学大学院医学系研究科ゲノム医学講座

自治医科大学ゲノム機能研究部

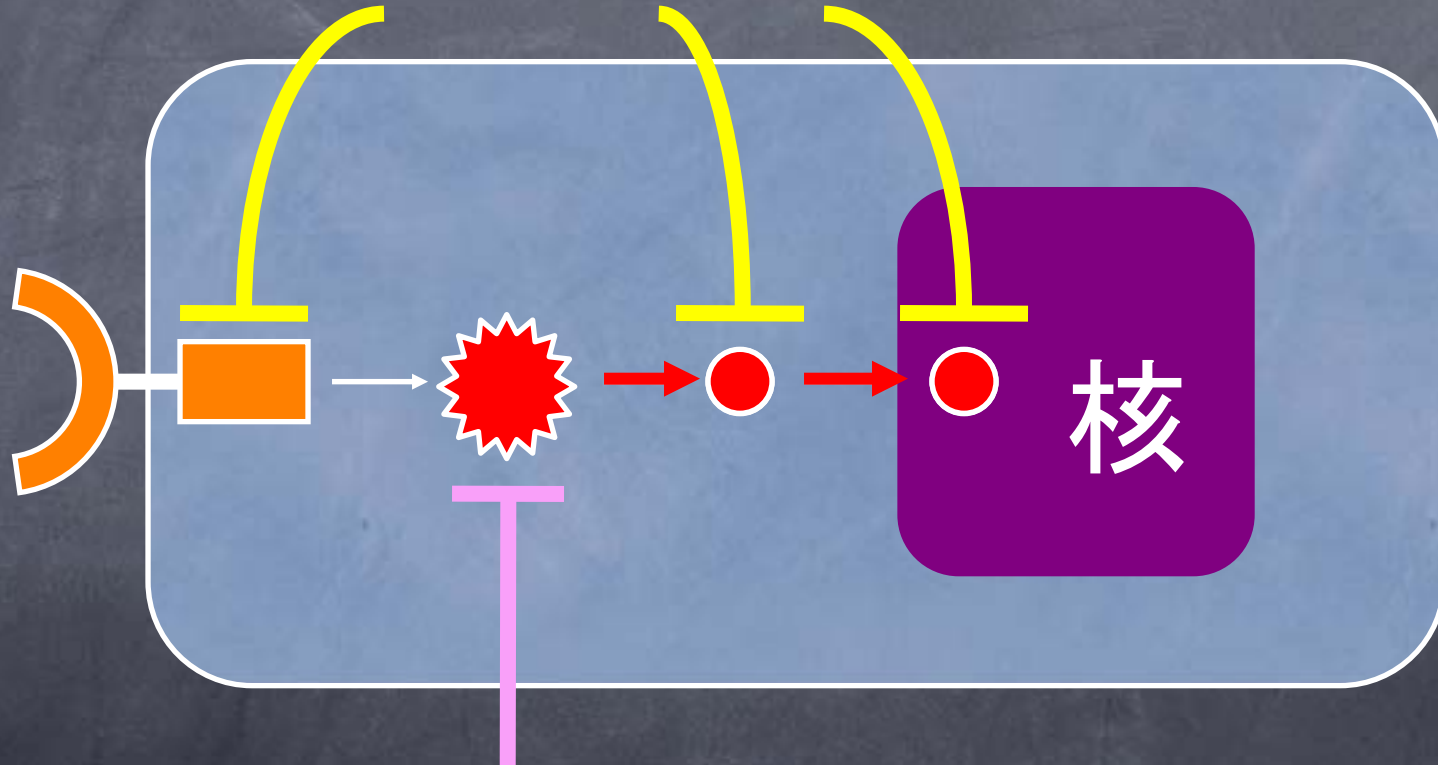


がんの発生



分子標的治療とは

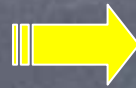
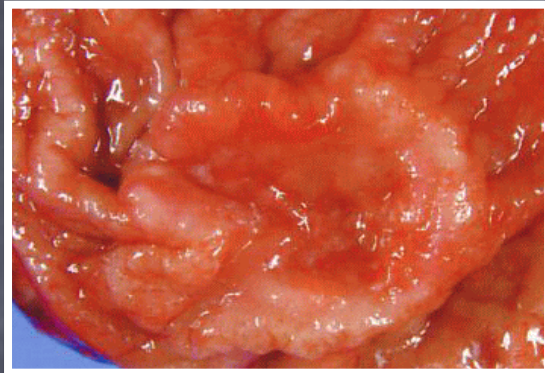
細胞増殖関連タンパクを阻害



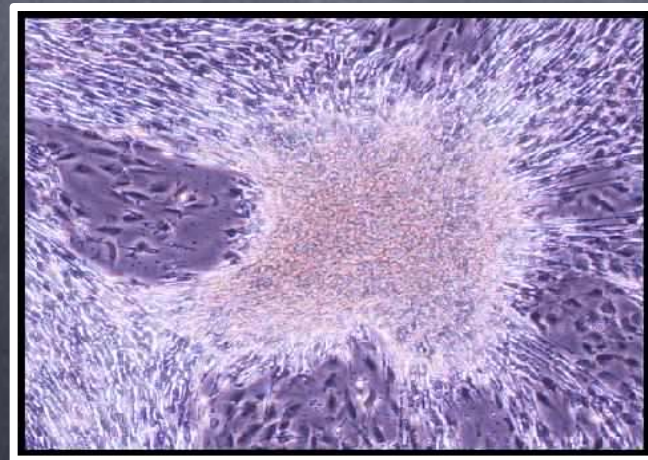
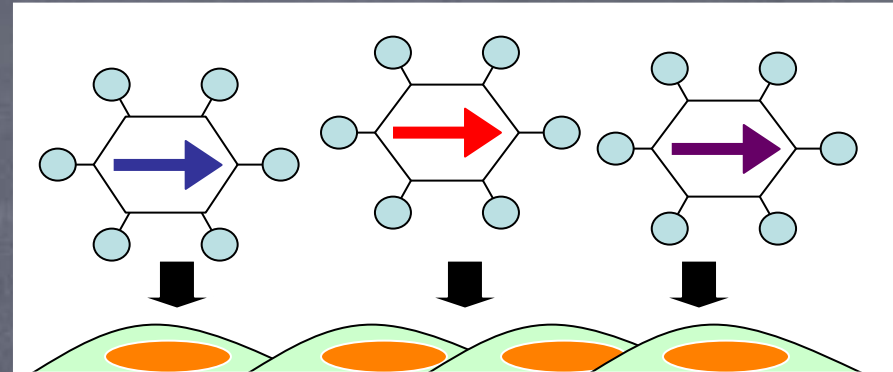
発がん原因タンパクを直接阻害

機能スクリーニング法

がん切除検体

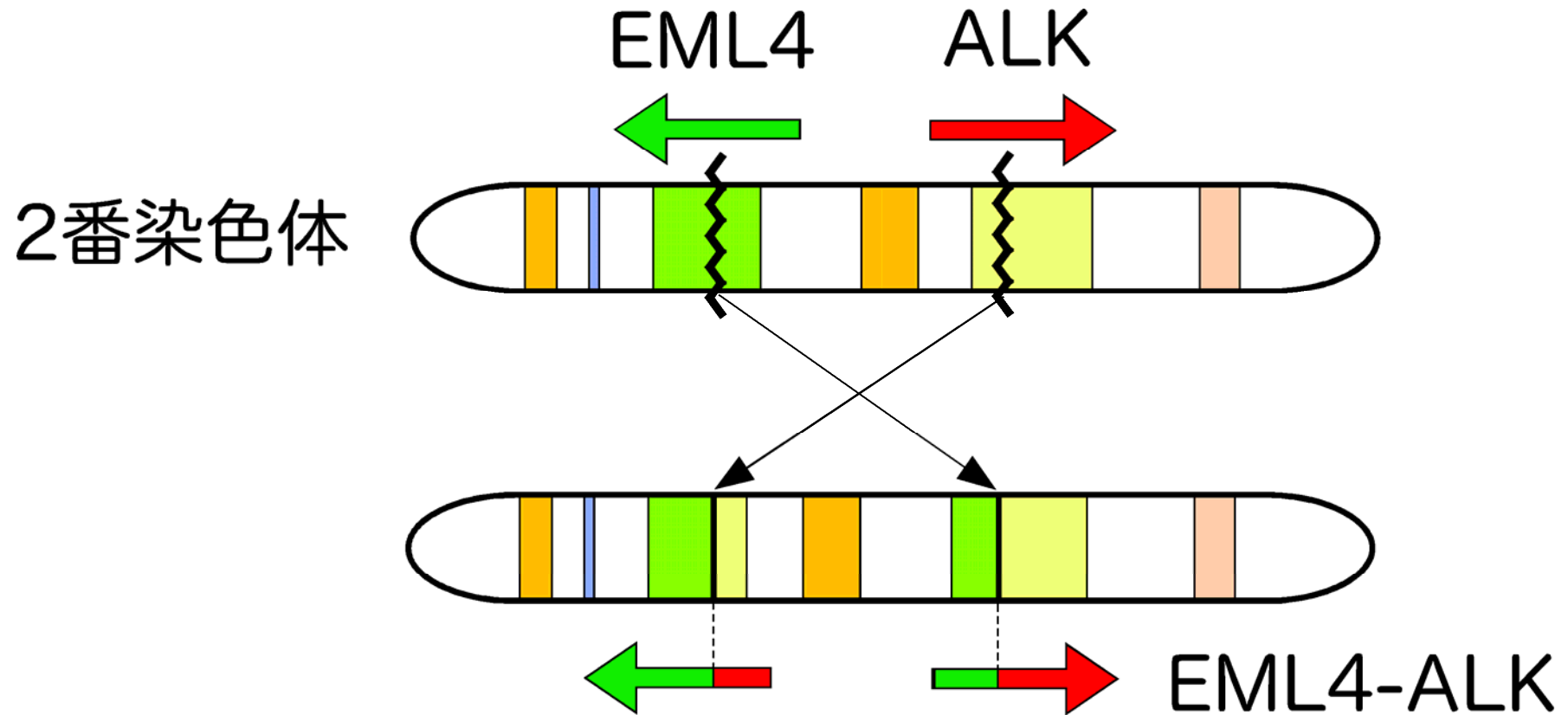


cDNA発現レトロウィルス



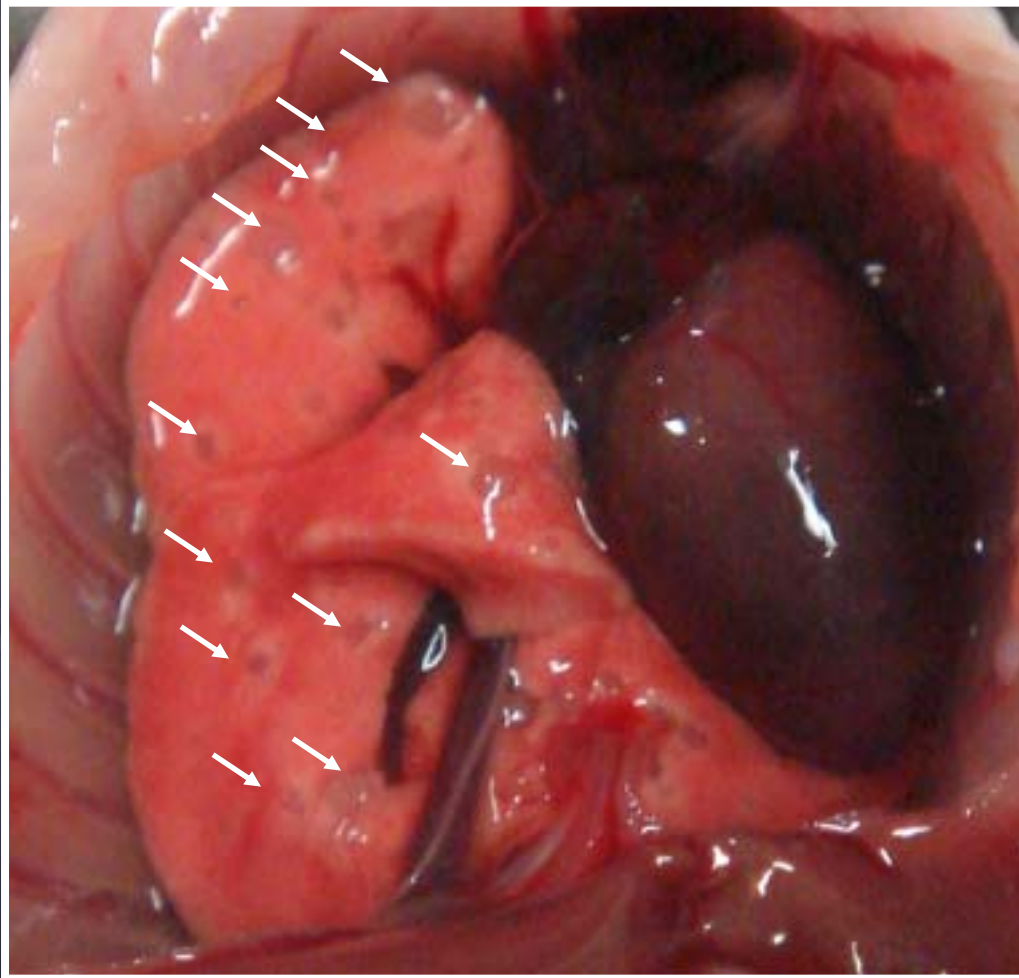
がん遺伝子同定

EML4-ALKの発見

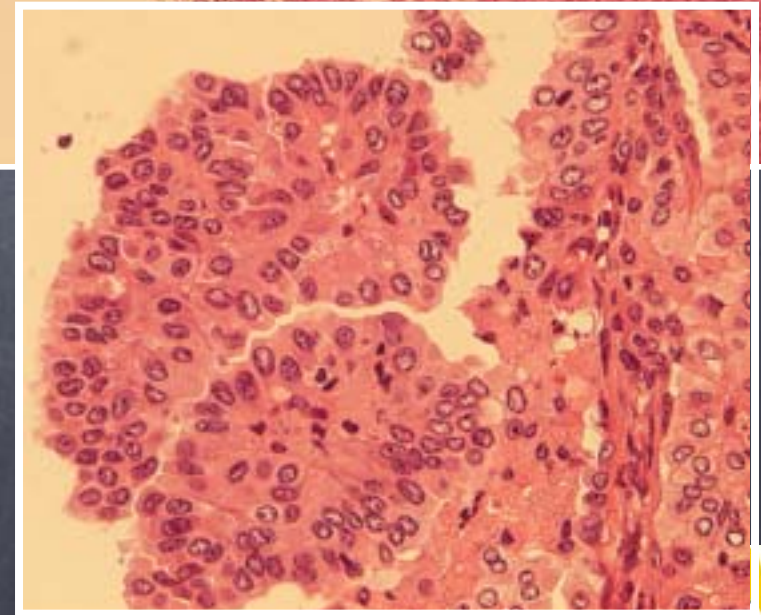
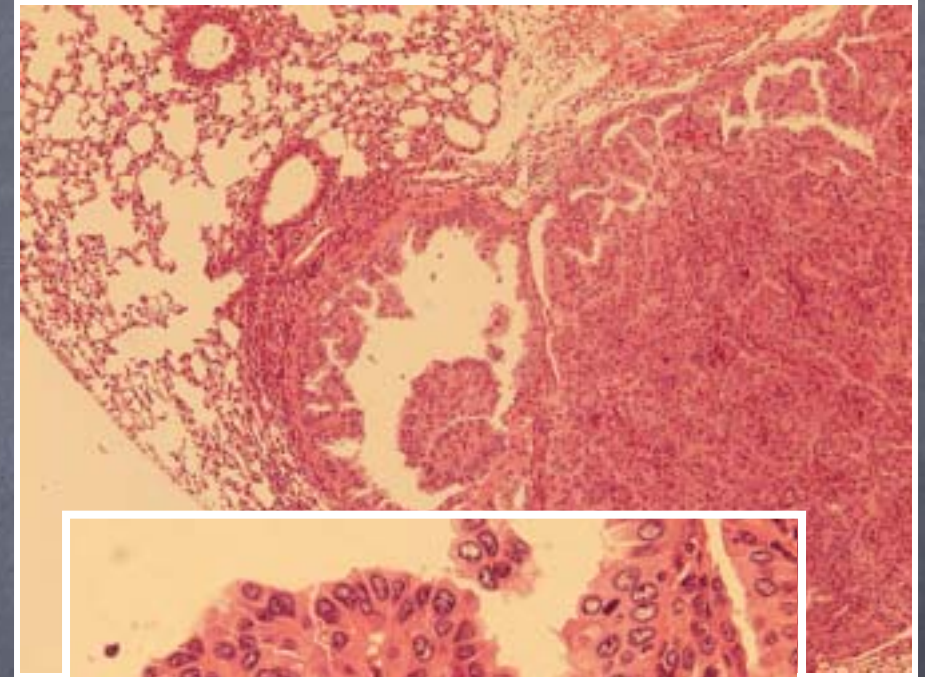


(Soda et al. *Nature* **448**: 561-566, 2007)

EML4-ALKトランスジェニックマウス

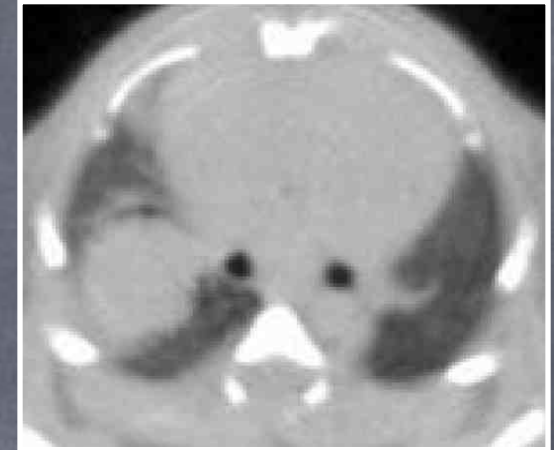
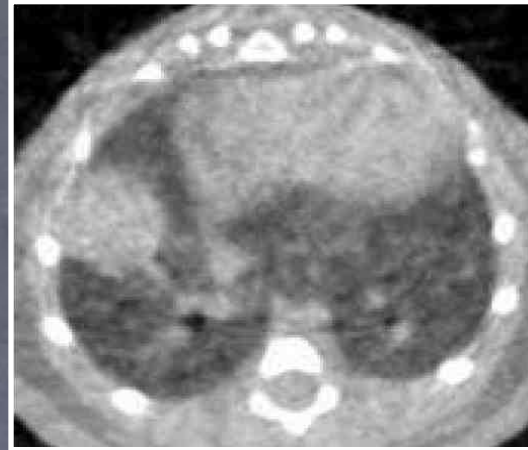
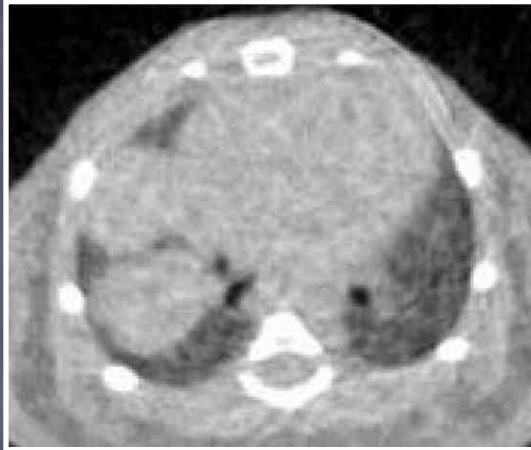


(PNAS 105:19893)

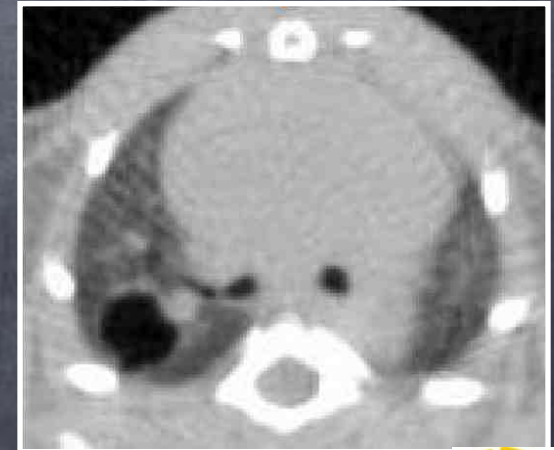


ALK活性阻害剤による治療実験

Day 0



Day 25



(PNAS 105:19893)

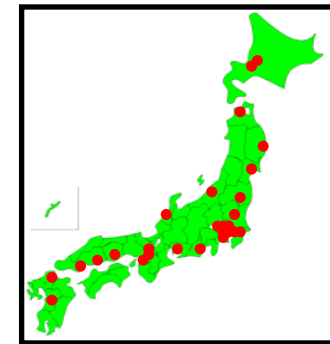
ALCAS第一回総会

ALCAS第一回全国大会(2009年3月14日、品川)

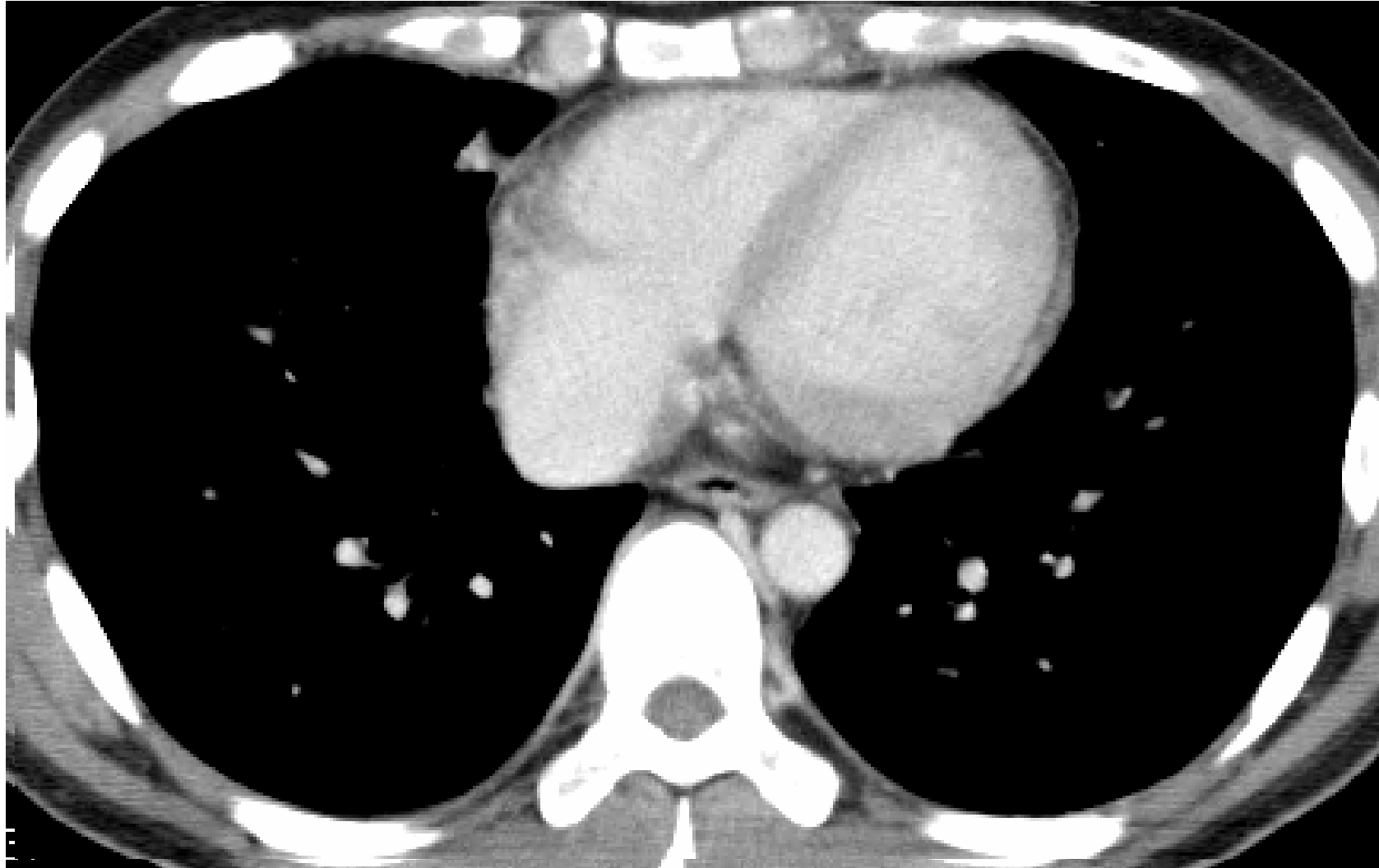


全国より200名近い臨床医・
肺がん研究者・病理医が集
まった。

喀痰などを用いたEML4-
ALK陽性肺がんの検出ネッ
トワーク

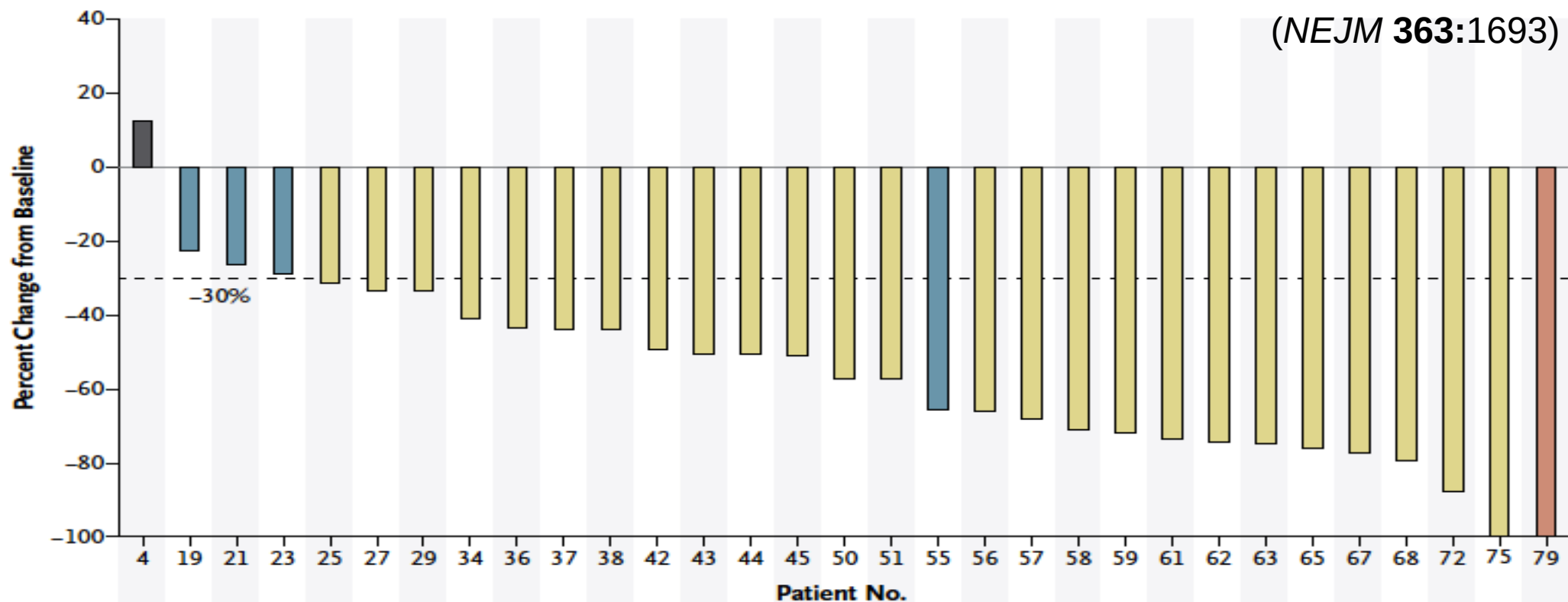


日本人症例の著効例



完全奏功 + 部分奏功 = 90%

■ Disease progression ■ Stable disease ■ Partial response ■ Complete response



抗悪性腫瘍剤「ザーコリ®カプセル200mg/250mg」新発売 －ALK 融合遺伝子陽性の非小細胞肺癌に適応

報道関係各位

2012年5月29日発売

2012年5月29日
ファイザー株式会社

ファイザー株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:梅田一郎。以下、「ファイザー」)は、2012年5月29日(火)、未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌(NSCLC: Non-Small Cell Lung Cancer)の効能・効果で、抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤「ザーコリカプセル200mg/250mg」(一般名:クリゾチニブ、以下、「ザーコリ」)を発売いたしました。

ALK 融合遺伝子発見の論文発表からわずか5年で、治療選択肢の限られている患者さんに本剤をお届けできることは企業として大変な喜びであり、また、その実現にご尽力をいただいた全ての方々に御礼を申し上げます。



「ザーコリ®カプセル200mg/250mg」

がんによる死亡者数

日本 (2005年)

総死亡者数 32.6万人

第1位	肺がん	6.2万人
第2位	胃がん	5.0万人
第3位	肝臓がん	3.4万人
第4位	結腸がん	2.7万人
第5位	膵臓がん	2.2万人

世界 (2004年)

総死亡者数 740万人

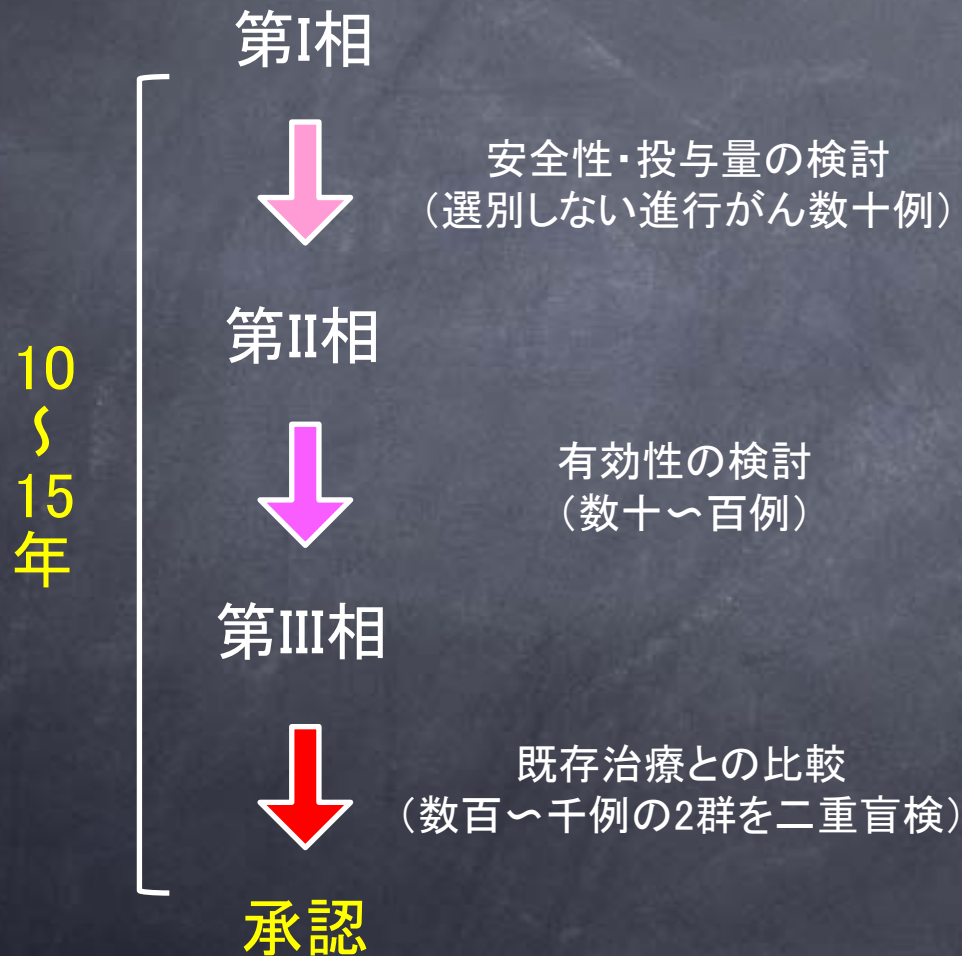
第1位	肺がん	130万人
第2位	胃がん	80万人
第3位	結腸がん	64万人
第4位	肝臓がん	61万人
第5位	乳がん	52万人

EML4-ALKは非小細胞肺がんの約4%に存在
EML4-ALKのために毎年5万人が死亡

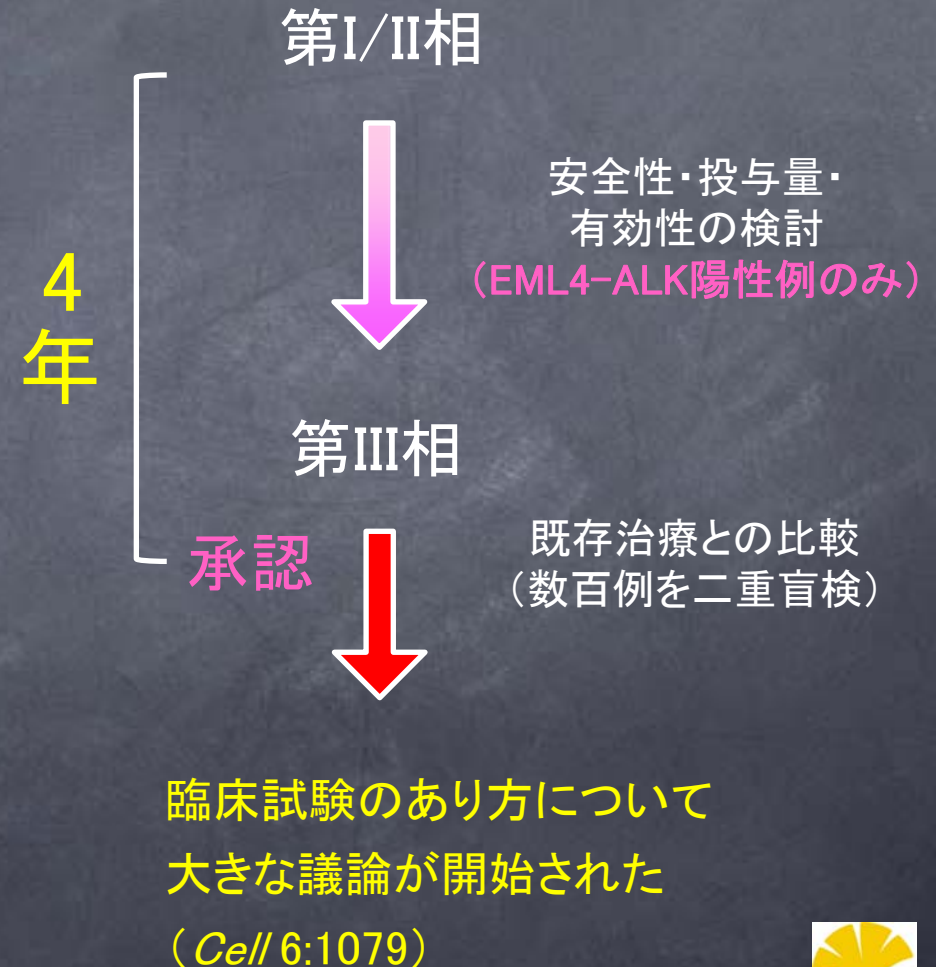


抗がん剤の開発・治療法が変わる

今までのシステム



クリゾチニブ



がん研究が医療へ直結

KIF5B-RETの発見



(*Nature Medicine* 2012年3月号)

がん研・自治医大チーム



RET阻害剤による
医師主導治験

国立がんセンターチーム



RET阻害剤による
医師主導治験

ハーバード大チーム

